

# 空中コンコース回廊競技場

- ① 美しく機能的であり、親しみのある施設整備
- ② 既存施設とのつながりに配慮した施設整備
- ③ 県民に末永く利用されるための施設整備
- ④ 環境や防災に配慮した長く使い続けられる施設整備
- ⑤ 空中コンコース回廊の期待される波及効果

## 空中コンコース回廊という展望機能をもつ陸上競技場

展望の場として空中コンコース回廊を設け、競技開催時のみならず、日常的に周辺の山々や飛行機の離発着が眺められ、散歩、ランニングを楽しくできる多様な機能をもつ場とします。

空中コンコース回廊は人々にそこを上ってみたい、歩いてみたい、走ってみたい、様々なイベントに参加してみたいという意欲を喚起。さらに、ニューヨークのハイラインの屋上庭園のような場所をつくり、休み、眺める空間を充実。



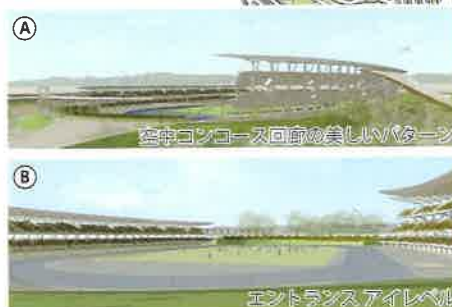
## 美しく機能的であり、親しみのある施設整備

### (1)時代を超える美しいデザインの実現

地上からだけでなく、空中（飛行機内）から見た美しい空中コンコース回廊のパターンが大きなインパクトを与えます。

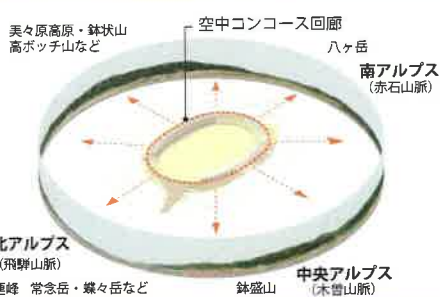


エントランススロープを上がり競技場全体を展望する際の、圧倒的な美しさと感動を意図。南側の赤松林がこの大地の景観をつくっていたことを想起。地上15mの空中コンコース回廊により競技場全体の框景を形成。この施設の美しさを感じる第一歩はこのスロープアプローチ。



### (2)景観への配慮

一周600mの空中コンコース回廊にのぼると、周辺の山々の美しさがより身近に感じられます。この回廊が本競技場の最大の魅力です。



## 既存施設とのつながりに配慮した施設整備

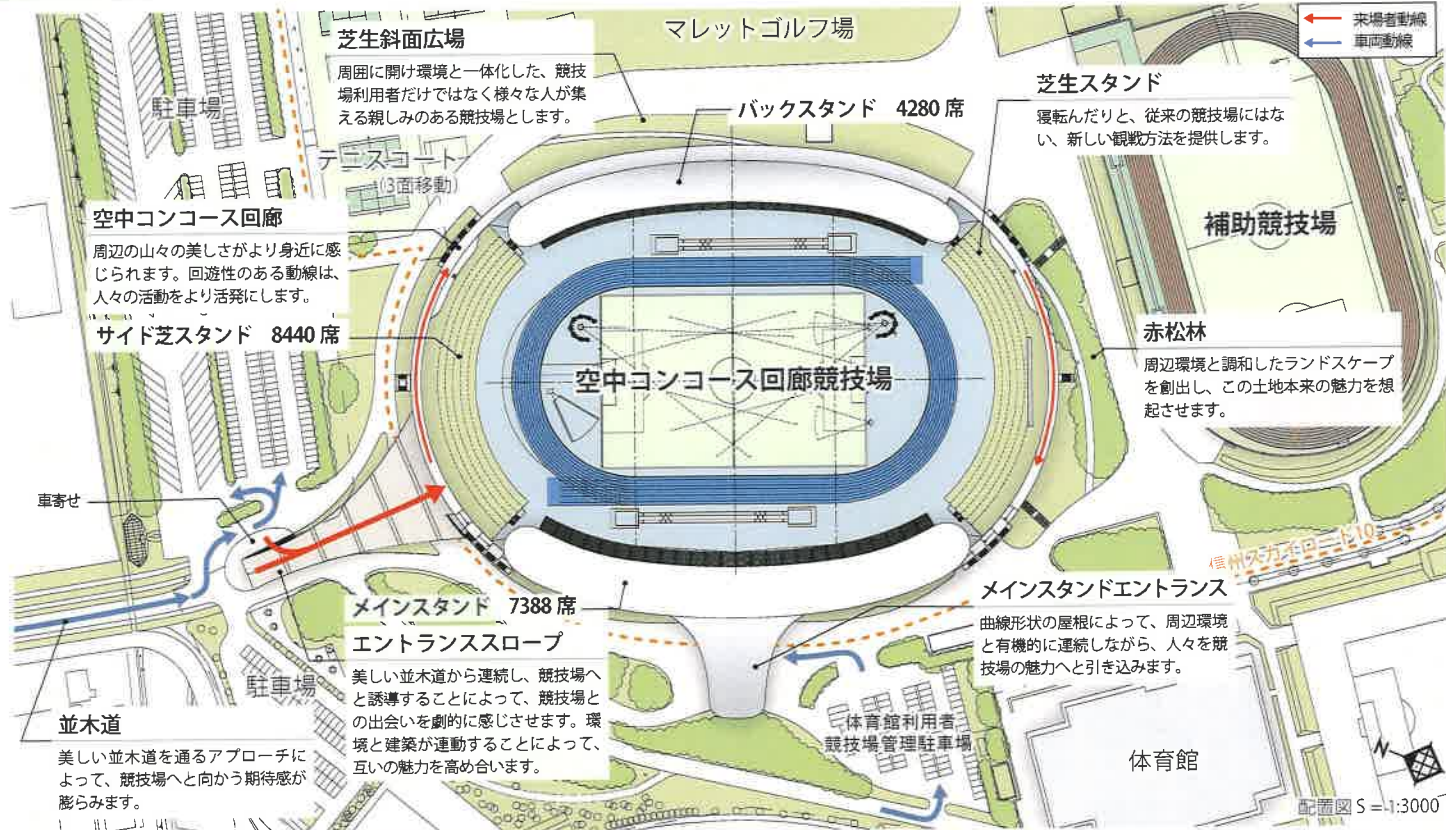
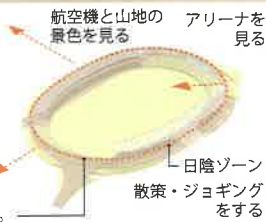
メイン競技場内にある雨天走路へのサービス通路は南東側にとられており、補助競技場であるサブトラックと十分に連動できます。

体育館とは、メインスタンドの下部に設置されたサービス通路により十分な連動が可能。現在の競技場の周囲はあまりにも舗装面が大きく、全体の気持ちよさを阻害しているため、本提案では競技場の東西は従来よりも十分な斜面緑地を設置し、ランニング、散歩、サイクリング等、機能的な分割利用が可能。



## 県民に末永く利用されるための施設整備

空中コンコース回廊をもつことにより、多くの県民と観光客に利用されるでしょう。それにより、経営的な貢献がもたらされ、さらに永く利用される施設となるでしょう。



空中コンコース回廊の高さはメインコンコースから約7m、幅は最低約4mを確保。空中コンコース回廊に至るにはEV、スロープ、階段、そしてこどもエレベーターと呼ぶ、立体塔状遊具。徹底したバリアフリー動線。



木製の飛行機模型をイメージした屋根。曲面の形状を生かした3次元木格子シェル構造と鉄骨斜柱により開放的でダイナミックなエントランス空間を実現。

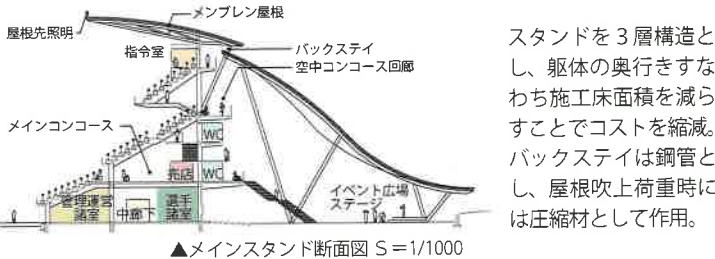
### 展示室・カフェ・立体遊具

展示室、カフェを空中コンコース回廊と一体的に設置。県内資源、アスリートたちの活躍を分散展示、回廊の循環機能を向上。北アルプスの景観を楽しみ休憩。立体遊具を設置することで競技場全体がこどもの運動能力を開発。

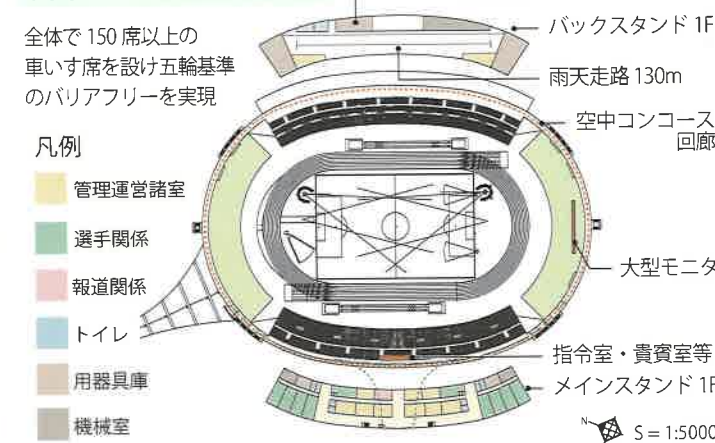


## 3次元木造格子シェル構造

約15mの屋根は鉄骨片持ちであり、スタンド後方にバックステイを配置することで合理的な構造とします。



## 平面ゾーニングイメージ



## 環境や防災に配慮した長く使い続けられる施設整備

### (1)環境への配慮

#### ・競技場フィールドの温熱環境

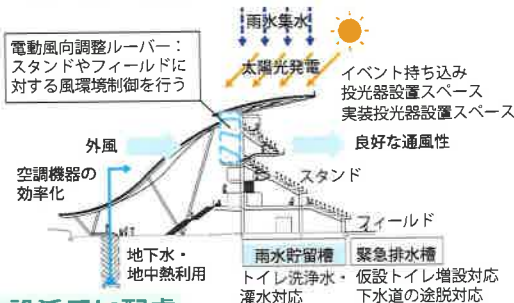
競技場は、フィールド面が高温になることを防ぐために、周囲の空中コンコース回廊の構造体によりテンポラリーなネット屋根を架け渡すことも可能です。

30%程度を膜あるいはネットで覆うことによっても改善可能。また周辺の空中コンコース回廊の壁面を利用して、フィールド内に入る風をすだれ効果により冷風にすることが可能。



#### ・自然エネルギーの最大限の活用と省エネルギー

地中熱・地下水、雨水、太陽熱および外風を利用して最小限のエネルギーで施設が運用できるように計画します。



### (2)災害時の避難施設活用に配慮

災害時における飲料水・生活用水の備蓄・トイレの増設・排水対応、電源確保・情報対応など、災害時に対応できる施設とします。

### (3)コストの縮減・工期短縮・ライフサイクルコストの縮減

施設内の水回りは全てユニット化とし、工期・コストの縮減を図ります。設備配管は、腐食しない非金属配管や耐久性の高い材料を選定しLCCの縮減に努めます。大会等における事業者持ち込み設備（放送機器、照明設備等）を検討し、本工事で実装すべき設備内容を整理することで過剰な設備対応がないように配慮します。

### (4)収入を生み出す利用 運用のための工夫

#### ・空中コンコース回廊の利用料をとる方法

フィールドでイベントを行ってなくても空中コンコース回廊の低額の利用料をとればメンテナンスコスト等に寄与します。1人300円の料金で年間20万人利用を想定すると6000万円の収入となり、特別な管理人員を用意する必要がないため純利益が発生。その他カフェ等のテナント料収入も期待。

#### ・コンサートイベント会場としての魅力アップと経営的な期待

空中コンコース回廊がプロジェクトマッピング等、新たな映像表現を高め、魅力あるコンサート会場になります。「ここでコンサートをやりたい」というアーティストが増えれば、経営的にきわめて大きな貢献が期待されます。

#### ・ICTによる情報サービスの向上

WiFiの無料サービスにより、スマホでの施設案内・座席案内・競技の解説などの情報提供が行えるICT環境を提供します。

## 空中コンコース回廊の期待される波及効果

リング状の空中コンコース回廊は、アスリートを支援するバナー等が吊り下げられ、会場全体を盛り上げます。

音楽イベントの演出的ディスプレイウォール、スポーツクライミング等の名所。企業協賛のバナーを吊り下げることで広告料収入が見込める可能性大。様々な使い方が可能、新たな公園経営健全化のモデルを目標。プロジェクトマッピング等にも利用可能性大。

